

2004年9月16日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
広報部 03-3664-5697
mail : koho@fuji keizai.co.jp

注目メカトロニクスパーツ4領域34品目の調査を実施

フルCNC、パネルコンピュータなど8品目で海外生産比率が20%を超える

総合マーケティングビジネスの㈱富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 原 務 03-3664-5811)はこのほど、好調なデジタル家電業界、自動車業界の設備投資の好転から半導体/液晶製造装置、輸送機械、工作機械などの機械・装置メーカー向けの需要が拡大しているメカトロニクスパーツ市場を調査した。その結果を報告書「2004年 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査」にまとめた。

1. 4領域34品目の総市場、2006年は1兆2,231億円と予測
2. フルCNC、パネルコンピュータ、マイクロスイッチの海外生産比率は30%超
3. 拡大する中国市場は今後現地生産・現地販売を強化

メカトロニクスパーツの需要の中心となる機械・装置メーカーや自動車、電気・電子分野ユーザーの生産の海外シフトが進んでいることから、メカトロニクスパーツの生産も海外シフトが進んでいる。このような状況に鑑み、前回までは純粋な国内生産で市場を捉えてきたが、今回の調査では、国内メーカーの海外生産分を含んだトータル市場を捉え分析した。

<メカトロニクスパーツ市場> 4領域34品目

2003年 9,864億円 2006年予測 1兆2,232億円(2003年対比124%)

2003年は、デジタルカメラ、薄型テレビ、DVDレコーダなどのデジタル家電市場の拡大に伴い、半導体/液晶製造装置、射出成型機などの機械・装置の需要が拡大した。また、自動車関連の各種ロボットなどの好調によりピーク時に迫る市場となった。中国を含む海外需要が大幅に伸びたことも要因となっている。

中長期の観点からみると市場を支えるのは海外需要(=中国市場)である。コンピュータ&コントローラ領域、モータ・アクチュエータ&メカ領域が高い伸びを示すとみられるが、その要因として実需としての中国市場の本格的な立ち上がりが挙げられる。

中国では2004年末に流通業者の100%独資会社設立が解禁され、製販一体となった展開が可能な環境が整ってくる。しかし、単に営業部門を開設するのみでは欧米メーカーや台湾、現地メーカーに太刀打ちできなくなっている。

このため、2004年以降は、サービス・サポート機能を徹底的に整備し、日系メーカー、現地メーカーなどを積極的に開拓するなど市場としての中国を意識した展開が必要となっている。

更には、現地需要ならではの製品開発を目的に、設計・開発部門の進出拡大も予想され、開発・製造・販売が一体となった取り組みが行われていくとみられる。

<海外生産動向>

需要の中心となる機械・装置メーカー及び自動車、電気・電子などのエンドユーザーの生産が海外にシフトするのに伴いメカトロニクスパーツの生産も海外にシフトする動きが活発化している。世界の生産基地になっている『中国』を中心にアジアへの進出が著しく、今後さらに海外生産の比率が高まることは確実である。

2003年段階で最も海外生産比率が高いのは、パネルコンピュータで50%に達している。続いて、フルCNC、マイクロスイッチで、この3品目が30%を超えている。海外生産比率が20%を超えている品目は8品目で、センサ領域で10品目中4品目が、コンピュータ&コントローラ領域で9品目中3品目が20%を超える。モータ・アクチュエータ&メカ領域で20%を超えるのは、IPM(高効率)モータだけである。逆に国内生産100%が11品目中6品目を数える。

<領域別市場>

1. コンピュータ&コントローラ領域(9品目)

2003年市場規模 4,010億円 2006年予測 5,074億円(2003年対比127%)

F Aパソコン、モーションコントローラのみが国内需要中心の市場を形成する。この二つ以外は海外需要、特に中国市場に支えられて市場は伸長するとみられる。フルCNC、汎用インバータ、プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器は、機械・装置メーカーの海外生産への移行に伴う需要が中心となっていこう。

汎用インバータ、プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器の海外生産のウエイトは13~18%(2003年数量ベース)に達している。中国は、今後市場として伸びが見込めることから、国内大手メーカーは2004年~2005年にかけて中国市場向けに現地生産強化を図っていくとみられる。

フルCNCは、工作機械の生産に左右され、国内市場は好・不調を繰り返しながら推移する。今後は中国を中心として韓国、タイ、インドなどでの生産・販売が期待できる。汎用インバータは大手メーカーが中国、米国などで生産・販売を強化しており、さらに生産の海外シフトを進め、欧米・中国・台湾メーカーの低価格化に対抗していくとみられる。

2. モータ・アクチュエータ&メカ領域(11品目)

2003年市場規模 3,382億円 2006年予測 4,353億円(2003年対比129%)

産業用リニアモータを筆頭にF A用ステッピングモータ、リニアガイドなどの高成長が見込まれる。メインである半導体、工作機械分野のほか小型化・低価格化により新たな市場を開拓していくとみられる。サーボモータの主力メーカーは中国での生産・販売を強化し、ダイレクトドライブモータは国内生産による輸出が当面中心であり、現地生産は検討されていない。F A用ステッピングモータは輸出のウエイトは高いものの米国市場がメインである。IPMモータは年率4~5%で成長していくと推測される。

3. センサ領域

2003年市場規模 2,017億円 2006年予測 2,351億円(2003年対比117%)

光電センサは用途の拡大、レーザ変位センサは高精度ニーズの高まりにより大きな伸びが見込まれる。

近接、光電センサは中国を中心とする海外需要の高まりに伴い海外生産の比率が高まる。リミットスイッチ、マイクロスイッチはユーザーの海外生産シフトにより海外での需要増が見込まれる。しかし、海外では欧米メーカーの安価な製品や現地メーカーの製品も多いことから、国内メーカーの海外需要への期待はあまり高くない。

4. 受配電機器領域

2003年市場規模 455億円 2006年予測 454億円(2003年対比100%)

コンタクタ(電磁開閉器、電磁接触器、過負荷継電器)は国内市場が頭打ちの状況であり各社中国を中心とした海外生産・販売に注力している。タイマ、カウンタはすでに海外生産・海外販売に取り組んでいる。

<中国市場への対応>

1. コンピュータ&コントローラ領域

F Aパソコン、モーションコントローラ、超小型コントローラ以外は、各メーカーとも中国での生産・販売を強化している。フルCNCはファナックが生産を強化し、その他のメーカーは販売面での強化を図っている。汎用インバータは上位4社とも現地生産を開始し、サービス・サポート機能を強化している。プログラマブルコントローラは小型中心で、中型機種へ進むのは1~2年後とみられる。現状では三菱電機、オムロンの2社が先行している。インバータ同様サポート・メンテナンスへの取り組みが鍵となる。

コンピュータ&コントローラ領域は、今後現地生産による中国市場のみをターゲットにした製品が開発される可能性が高い。

2. モータ・アクチュエータ&メカ領域

需要面からみるとIPMモータのように中国での需要が全生産量の10%を超えるケースもあるものの、大半は一桁台の構成となっている。なかには1%を下回るケースやまったく輸出がない製品もありこれからといった段階である。

中国では自動車業界が活況を呈しており、関連する工作機械・ロボット関係の需要が急拡大している。それらの機械に欠かせないのがサーボモータであり著しい成長を遂げている。

3. センサ領域

センサ領域の中国での生産展開は他の領域と比べ一歩リードしたかたちである。近接センサや圧力センサなどは中国生産が本格化している。ただし、欧米向けの出荷を意識した展開が実情である。リミットスイッチ、温度調節計、ロータリーエンコーダなど中国向けが10%を超えるものも出てきている。

今後の中国生産は現地消費を意識し、現地での販売体制の構築、現地ディーラーの開拓などを考慮して対応していく必要がある。

4. 受配電機器領域

コンタクタなどは、国内市場が飽和状態にあるため海外市場の開拓が急務であり、中でも中国市場は今後の主戦場と考えられ、生産・販売を問わずグローバル提携が加速すると推測される。日系メーカーは、中国市場向けの現地生産・現地販売を推し進めるため現地需要にあった製品開発による差別化、生産面でのスケールメリットを生かすためのグローバル製品の開発及び日本国内における価格競争力の強化、を念頭に中国展開を進めていくとみられる。

<調査対象>

A. コンピュータ & コントローラ領域	フルCNC、モーションコントローラ、汎用インバータ、プログラマブルコントローラ、FAパソコン、パネルコンピュータ、プログラマブル表示器、省配線システム(センサ・デバイス系/コントローラ系)、超小型コントローラ
B. モータ・アクチュエータ & メカ領域	AC/DCサーボモータ、ダイレクトドライブモータ、FA用ステップモータ、産業用リニアモータ、AC/DCサーボドライバ、ステップドライバ、産業用ギヤードモータ、産業用ブラシレスモータ、IPM(高効率)モータ、リニアガイド、X-Yテーブル
C. センサ領域	近接センサ、光電センサ、産業用圧力センサ、リミットスイッチ、マイクロスイッチ、レーザ変位センサ、ビジョンシステム、リニアスケール、ロータリーエンコーダ、温度調節計
D. 受配電機器領域	コンタクタ、サイリスタ式電力調整器ユニット、タイマ、カウンタ

<調査項目>

1. 市場概況
2. 市場規模推移及び今後の中期的市場予測
3. マーケットシェア動向
4. 用途別市場構成及び注目アプリケーション機器動向
5. 主要メーカー別販売エリア別動向及び中国市場展開
 - (1) メーカー別生産拠点及び需要エリアウエイト
 - (2) 主要メーカー別対中国戦略の現状と展開
6. 参入企業一覧

<調査方法>

弊社専門調査員による調査対象先に対する直接面接取材を基本に、一部電話ヒアリング

以上

資料タイトル: 「2004年 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査」
体 裁 : A4判 290頁
価 格 : 97,000円 (税込み101,850円)
調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部 TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030
発 行 所 : 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。URL : http://www.group.fuji-keizai.co.jp